

# 1906

## 聖クララ教会（カトリック与那原教会）

### 【キーワード】

〔施設種別〕 高齢者施設 障がい者施設 子ども施設 住宅 宗教施設  
〔運営主体〕 市区町村 法人 NPO 個人 個人（補助金） 内閣府 国土交通省 厚生労働省（）  
〔建物形式〕 1棟単体型 複数棟集合型 団地型 〔建物状況〕 新築 増築 改修 一部改修 既存  
〔対象者〕 高齢者 障がい者 子ども ファミリー 多世代



写真1. 建物外観

沖縄の戦後復興の一翼を担ったフェリックス・レイ司教が創立した与那原町の高台に立つステンドグラスの教会。太平洋戦争末期の地上戦で荒廃した沖縄が復興途上の1958年に片岡献氏によって建てられた。また、聖堂はデザイン的価値ばかりでなく歴史的にも価値が認められ「日本における近代建築 DOCOMOMO100選」の一つに選定されている。

■見学者：林萌絵，米ヶ田里奈

■見学日：こども環境学会 2023 年大会  
7月7日（金）エクスカーションにて

### ■施設概要

施設種別：宗教施設

所在地：沖縄県島尻郡与那原町字与那原 3090-5

竣工年：1958年

設計：片岡献（当時、在日米軍陸軍技術部隊建設部に所属）

構造：鉄筋コンクリート造

運営：宗教法人

主任司祭：クレバー神父 Fr.Clever

主日ミサ時間：午前9時

平日ミサ時間：午前6時30分

（公休日）：午前7時

（火曜日）：午前6時30分 集会祭儀

スペイン語ミサ：第1日曜日 午後6時

英語ミサ：第2日曜日 午後6時

\* 2003年、DOCOMOMO JAPAN(日本における近代建築) 100選に選定。



写真2. 周辺状況（Google Maps から引用\*）

那覇空港より車で約30分、バス停（与那原（与那原町）／沖縄県路線バス）より徒歩4分の場所に位置する。



写真3. DOCOMOMO 100選の一つに選定

沖縄県で唯一、建築名選100選に選ばれており、島内外から観光客が訪れる人気の施設。



写真4. エントランス

## 参考文献

- 1) 与那原教会のご案内 | カトリック那覇教区ホームページ < [http://www.naha.catholic.jp/yonabaru\\_church.html](http://www.naha.catholic.jp/yonabaru_church.html) > 2023. 10. 01 参照
  - 2) 施設見学 2023. 07. 07
  - 3) 施設資料
- \* Google Maps 2023. 10. 01 参照



写真5. 礼拝堂内部

蝶が羽を広げた形状をした屋根を何本もの梁が支えている。両側は全面ガラス張り、北側一面はステンドグラス。



写真6. 緑の中庭

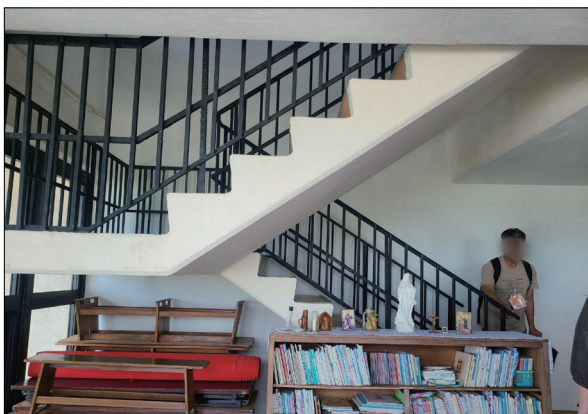


写真7. 角形の異形鉄筋が使われている階段手すり  
米軍から無償提供された資材も多く、今も手すりには当時米国で使用されていた角形の異形鉄筋が使われている。

## ■施設の歴史

1947年第二次世界大戦で焦土と化した沖縄にアメリカから聖フランシスコ修道会の宣教師たちが来島。当時、沖縄は宣教以前の問題として、食料、医療、教育など問題が山積していた。そこで、宣教師たちは援助活動、宣教活動を進めて行く上で、共に働く修道女が必要となり、本土や海外に支援を求めたが、十分に得られず、当時、沖縄宣教の任にあったレイ神父は、当地で修道女を育成することを決意し、この修道院を建設した。この土地と建設にかかる資金はすべて、宣教師たちが、母国から集めた寄付金によるものである。

## ■施設特徴

1958年に修道院とこの聖堂は完成し、当初より修道院の聖堂としてばかりでなく、地域の人々の教会として使用されている。

2003年、この聖堂はデザイン的価値ばかりでなく、歴史的にも価値が認められ「日本における近代建築 DOCOMOMO100選」の一つに選定された。設計は、片岡献で世界的な設計事務所 SOM による指導があったとされており、米国の近代主義建築の強い影響が見られる。屋根は蝶が羽を広げた形をし、主要道路からの景観が意識されている。聖堂内はあくまで明るく光に満ち、豊かに変化する明暗がステンドグラスの美しさを引き立たせ飛翔感さえ感じられる。光の建築としての完成度は特筆に値すると言われている。

(執筆者：林萌絵)

## ■修道院エリア



写真8. 一般公開されていない修道院エリアの様子